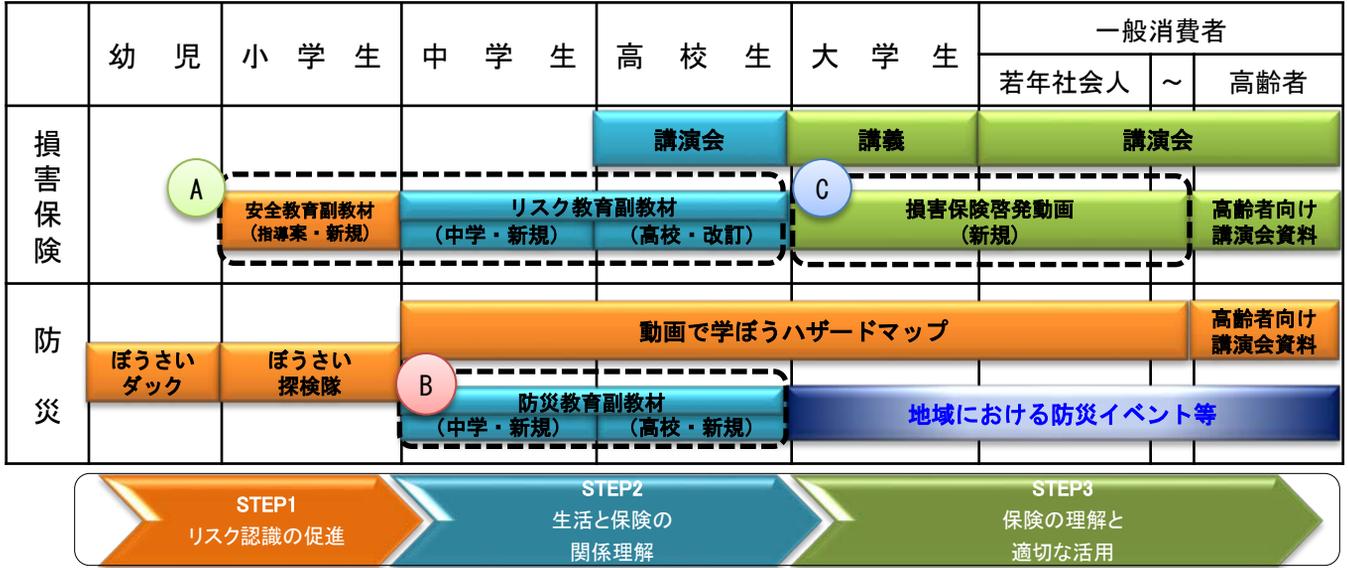


《損害保険・防災リテラシー向上の目的》

- ・損害保険教育の浸透により、損害保険の情報を正しく理解し、主体的に判断できる能力を身につけ、消費者の皆さまの安心で豊かな生活を実現する。
- ・防災教育を通じて地域の防災力を高め、社会的損失の低減につなげる。

損害保険・防災リテラシーマップの全体像



2016年度の新規取組み

A	安全・リスク教育副教材	B	防災教育副教材	C	損害保険啓発動画
対象：小学生	対象：中学生、高校生	対象：中学生、高校生	対象：大学生、若年社会人		
<p>冊子：小学生のための自転車安全教室</p> <p>教師用学習指導案</p> <p>※本冊子は公益財団法人消費者教育支援センターの「消費者教育教材資料表彰」において優秀賞を受賞（5月）</p>	<p>高校生向け ワークシート (2017年3月)</p>	<p>高校生向け ワークシート 災害から身を守る</p> <p>中学生向け ワークシート 安全な住まい災害への備え</p>	<p>ターゲットトリーチ</p> <p>Facebook広告</p> <p>SNSのインフィード広告からYouTubeがチャンネル登録動画へ誘導</p> <p>SNSシェア</p> <p>動画に反応したユーザーによるSNS経由での口コミ拡散を図る</p>		
自転車の安全な乗り方等を児童が学べるよう、上記冊子を教師が授業で解説するための学習指導案（12月）	損害保険を学べるよう構成された副教材「生徒用ワークシート」「教師用引き」（中学12月・高校2017年3月）	自然災害によるリスクやその備え方について学べるよう構成された副教材（「生徒用ワークシート」「教師用引き」）（8月）	動画で身近なリスクを知ってもらい、その備えとして「損害保険」を学べるWEBコンテンツ（動画+WEBサイト）（12月）		

活用に向けた取組み

- ・モデル校で試行実施（小学生12月、中学生10月、高校生2017年2月）。 A
- ・教育委員会をはじめ、日本消費者教育学会、教育支援コーディネーターフォーラム、全国家庭科教育協会等を通じて教員に直接情報提供を行い、教育現場で利用促進。 A B
- ・Facebook等のSNS広告を活用し多くの対象者が閲覧することにより、損害保険に関心を持ってもらい、WEBサイトで身近なリスクに備える保険について学んでもらう（2017年1月以降）。 C